劇作家Ｓ

佐溝貴史

一言一句間違えずに台本どおりやることを要求するくせに、誤字脱字の多い作演のはなし

［配役］
１　脚本家
２　役者
３　役者

１の独白からはじまる
サス

１　台本は作家の命だ。そしてセリフは魂だ。血を吐くような思い、体を削り取られるような苦しみの中から一つ一つつむぎだした言葉たちだ。
私はアドリブが大嫌いだ。私の生み出した言葉、それらを役者達は思いつきでばらばらにする！！　ああーー！！！
役者は、一言一句間違えず、私の書いた完璧な台本その通りに演じなければいけない。

明転
3 人がいる

１　じゃ、これ台本。とりあえず読んでみて。
２　「ずっと週末だったらいいのに」
１　サザエさんを見終わったくらいの時間、翌日から仕事、っていうサラリーマンの悲哀を描いてみた。最初からとりあえずやってもらっていい？
A が〇〇で B が△△ね。動きとかはまあ適当でいいから、とりあえず台本どおりに、読んでみて。
３　了解。
１　じゃ、いくよ。（ト書き）サザエさんも終わり、居間でテレビをみている二人
２　『あ～もう日旺日（にちたまび）も終わり――』
１　ちょっとちょっと、それ「曜」って読むんだよ。知らないのかよ
２　あ、そうなんだごめん知らなかった。『あ～、もう日曜日も終わりかあ、明日（あした）からまた――』
１　そこ、「あす」ね、ちゃんとルビふってあるでしょ、読んで

2　『あすからまた動くのかあ』
1　はたらく、だよ！！　にんべん見落としてんじゃねえよ！
2　『明日からまた働くのかあ、やだなあ』
3　『何言ってるの、先週もおなじこと言ってたじゃない』
1　そこ「おなじ」じゃなくて「おんなじ」。もー！　ちゃんと読めって！
3　『何言ってるの、先週もおんなじこと言ってたじゃない』
2　『そりゃそうだよ、先週も仕事（しんごと）だったんだから』
1　そこは「しごと」でいいんだよ！　しんごとなんて聞いたことないだろ！　もう！次！
3　『いいからもう寝なさいよ。明日も早いんでしょ』
2　『や、あしたは現場に直行(なおゆき)だから』
1　おまえわざとやってんだろ！！　なおゆきじゃねーよ！
2　『あしたは現場に直行じゃないから』
1　そういうことじゃねーよ！　直行(ちょっこう)だよ直行！！　誰なんだよなおゆきって！
2　ああ、そうか。『や、あしたは現場に直行だから 10 時くらいに出れば間に合うんだ』
3　『余裕じゃない、だったら何をそんなに嫌がってるのよ。私も、うねるわ』
1　うねってどうすんだよ！！　「私もう寝るわ」だよ！　もー！！！　一旦中断！！

台本から目を話し、１を見る２と３。

1　お前らちゃんと読めよ！！　しっかり台本見る！！　わかった！？
2、3　うん
1　じゃ、もう一回、現場に直行のとこから
2　『や、明日は現場に直行だから 10 時くらいに出れば間に合うんだ』
3　『余裕じゃない、だったら何をそんなに嫌がってるのよ、私もうねるわ』
2　『ちょ、ちょっと侍って』
1　ストップ！！　お前ちゃんと見てんの？！　どこをどう読んでも侍とは……
(心の声)書いてあるー！！！　しまった！！！　「待つ」と「侍」間違えた！！！
2　大丈夫？　何かしまったとか聞こえた気がしたけど
1　大丈夫だよ！
(心の声)やべーよ、あーどうしよ、でもあれだけ言った手前もう押し通すしかないよ
3　ホントに？　間違いじゃないのね？
1　あ当たり前だよ。台本なんだから、それどおりやってくれればいいんだよ
3　ふーん。で「侍って」って何？
1　あ、さむらったことない？
3　さむらうってなに
1　自分、さむらうんだから、知らないとまずいよ
3　だからさむらうってなによ！

1　(無視)はい、続けて
2　『ちょ、ちょっと待って』
3　『何い』
1　(心の声)「い」が一個多い！　めっちゃけんか腰になってるよ！
2　『こう二人で話す機会ってしばらくなかったじゃない』
3　『いん』え、なにこれ？
1　(心の声)なぞの返事だー！　「うん」だよ「うん」！！
1　「いん」だよ、「いん」。書いてあるでしょ、そこは役者の演技力でカバーでしょ
3　(首を縦に振りながら)『いん』
2　『あと少しだけ話そうよ、切腹だから』
1　(心の声)「せっかく」！！　「せっかく」だよ！！　死ぬ直前みたいになっちゃってるよ！
3　『いいけど、短めにしてね』
2　『つめた！』(詰めた、のイントネーションで)
1　冷た！　だよ！　何を詰めたんだよ！　ここは俺のミスじゃなっいー！
3　ん？
1　や？　なんでもないよ！
2　『冷た！』
3　『で＊』この※なんて読むの？
1　え？　なんで「？」じゃなくて「＊」タイプしてんだ俺は！　……『で＊』(っていう顔をする) だよ。はい
3　『で＊』
2　『へ？』
3　『なに話したいの？』
2　『あ、ああ、じゃあどうやったら通勤が楽しくなるかについて』
3　『おやすみ』
1　(ト書き)B、はける
2　『あ、ああ、じゃあどうやったら通勤が楽しくなるかについて』あれ？
1　(心の声)コピペミスったー！！　なんだよこれ！！
1　(ト書き)B、出てくる
3　『そんな話興味ないよ私』
2　『あ、ああ、じゃあどうやったら通勤が楽しくなるかについて』
1　(心の声)３回目！！
3　『おやすみ』
1　(ト書き)B、はける
2　『なんでよ！！』
3　『そんな話興味ないよ私』
1　(ト書き)B、出てくる
2　『じゃあ、どんな話だったら興味ある？』
3　『そうだなあー』

1　　(ト書き)といいつつB、出てくる
3　　……わたし、もう出てるんだけど
1　　え！！　あ、ああ、知ってるよ。出てくるのは、ほら、貫禄が、だよ
3　　は！？
1　　はい、貫禄だして

3、貫禄をだしつつ

3　　『そうだなあー』
2　　『ほら、最近あったこととか』
3　　『なにかしらまったく興味のない話題を言う』
1　　(心の声)しまったー！！　ココ台詞決まってなくてまだ指示しか書いてないんだった！
2　　このあと、俺の台詞空白なんだけど
1　　ついに空白！　なんも決めてないんだったよこのへん
2か3　（最初の１のまねをして）
　　「俺の書いた完璧な台本――
1　　うるせーよ！　空白よめねーのかよ！おまえは！
2　　読めるか！
1　　何らかの方法でよめ！
2　　（なんらかの方法で空白を表現する）
3　　『興味ないでしょ』
2　　『ないね』
3　　『まあ、でもこういうどうでもいい河合をしたかったのかもね』
1　　(心の声)誰だよ河合って！　会話だよ会話！　でももうこのくらいはスルー！！
2　　『でしょ？　ちょっとは気がまぎれた？』
3　　『ぷん』(すねた感じで)
1　　(心の声)「うん」だから！なぜすねる！？　でなぜ俺は「うん」とタイプできない！？
2　　『明日からも頑張れそう？』
3　　『うーまだ頑張れそうじゃないかなｐ』
1　　だからｐが余計なんだよ！
3　　てかこれわたしの台詞でほんとにあってる？
1　　(心の声)だよね違ってるよね、いつの間にか二人立場逆転してるもんね、おかしいよねゴメンネまちがえちゃった！　って言っちゃいてえ！！
3　　(心の声に割り込む)あってるんだよね？
1　　(裏声)あってるよ！　続けて！
3　　『うーまだ頑張れそうじゃないかなｐ』
2　　『元気出して。ほら、これがげえｒから』
1　　(心の声)もうタイプミスしすぎてて何言ってるかわかんねえ！

２　　(ちょっとの躊躇)『はい、頬張って』
１　　(心の声)正解は「がんばる！」頬張ってどうする！
３　　『これは？』
２　　『元気の出るように』
３　　『ありがとう、頬張るよ』
　　……色々言いたいことはあるけど、これでほんとにやるの
１　　やるの！　やるったらやるの！！
２　　なんか駄々っ子みたいになってきたな

３、なんか無茶なものを頬張る

３　　『なんか元気でてきた』
２　　『ほんとに？』
３　　『ほんとだよ。ありがと』
２　　『ほんとにほんと？』
３　　……で、このあとのＳって誰
１　　(心の声)誰だよＳって？？！！
１　　(心の声とほぼ同時に)俺！　さみぞのＳ！
２　　なんでいきなり本名で登場してんだよ！
１　　無視！『ほんとだよー、もう大丈夫だって』
３　　で何いきなり会話に加わってんのよ！
２　　『あしたの仕事、がんばれる？』
３　　『がんばるよ』
２　　『じゃ、寝ようか』
３　　『うん』
全員　　『おやすみ』

3 人はける。
サス
１　出てくる

１　　台本は作家の命だ。セリフは魂だ。
　　役者は、一言一句間違えず、私の書いた完璧な台本その通りに演じなけ――

２，３　ばかやろう！

２と３、１を蹴る。

暗転。